



【講師】

広島大学大学院 教授
湯澤 正通先生

<湯澤先生からのメッセージ>

ワーキングメモリは「脳の黒板」にたとえられます。「脳の黒板」が小さいと一度に覚えておける情報が少なく、学習に遅れが生じます。そのような子どもをどのように支援したらよいのでしょうか。ワーキングメモリの基本的な考えを説明し、それを踏まえた子どもの支援方法を解説します。

ワーキングメモリ理論を 踏まえた子どもの学習支援

7月27日(金) 13:30~15:30 <受付13:00~>

<講師紹介> 現在、広島大学大学院教育学研究科教授

【専門領域】教育心理学、発達心理学

【資格】特別支援教育士スーパーバイザー(S.E.N.S-SV)

【最近の主要著書】「ワーキングメモリと英語入門:多感覚を用いたシンセティック・フォニックスの提案」(北大路書房2017) 「ワーキングメモリを生かす効果的な学習支援:学習困難な子どもの指導方法がわかる」(学研プラス2017)

「ワーキングメモリと教育」(北大路書房2014) 他多数

- ・場所:セラトピア土岐 3階大会議室(土岐市土岐津町高山4)
- ・申込方法:専用の申込用紙にてFAXでお申し込みください。
- ・定員(120人)になりしだい、締め切ります。
- ・お問い合わせ:東濃特別支援学校地域支援センター ☎ 0572-55-4821